

◆岡山大学法学部だより◆

※ 本メールは法学部の教職員、在学生、卒業生および岡山大学法学部ホームページから登録された方にお送り
しています

第 152 号(2019 年 10 月 4 日発行)

発行：岡山大学法学部 学部長室

=====

新学期が始まり、キャンパスに学生が戻ってきました。

○新任ごあいさつ

嶋津 元 (法学部専任講師)

はじめまして。

民法を担当しております嶋津元(しまづ・げん)と申します。兵庫県出身で、大学進学を機に 11 年間東京で生活し、今年の四月に岡山大学に着任いたしました。

教職員の皆様方には色々ご迷惑をおかけするかもしれませんが、何卒宜しくお願ひします。学生の皆さんにおかれましても、出来る限り面白い講義ができるように努力しますので、どうぞ宜しくお願ひします。学生の皆さんには一方的に講義をするのが中心で、会話をすることは少ないと思いますので、皆さんに向けて何か書いてみたいと思います(とはいえ、このメッセージもまた一方的で申し訳ないのですが…)。

さて、考えてみますと、面白い講義には意外性というものがあると思います。私が学生の頃に受けた中で一番面白かった講義では、一見すると当たり前の話から出発しつつも、そこから素直に考えていくと実はおかしな結論に至ったり、多くの教科書や論文で言われていることが実はそれほど確実ではない、といった類の意外性が常に意識されていました。意外性を意識することで、当然だと思っていた世界の背後に違った世界があるような気がして好奇心が刺激されていたのかなと思います。

私も好奇心を刺激できるような講義をしたいと思い、その準備をしているところですが、教科書等を調べていても厳密には詰めきられていない問題が多いと感じることもあります。そして、その厳密に詰めきられていない点にこそ意外性を生み出すキッカケが潜んでいる気がしているのですが、そういったキッカケを見出すためにも皆さんからの積極的な質問をお願いしたいと思います。学生の皆さんからすると、教員は何でも分かっているように思うかもしれませんが(私も最初はそう思っていました)、そうではないこともあります。講義や演習での話に理解できなかった点があるとか、そもそも何が分からないのか分からないといったことは、全く恥ずかしいことではありませんから、人目を気にせず質問しに来て下さい。これは学生時代に人目を気にしすぎていた時期があった自分自身の反省でもあります。

-
- ・ 本メルマガは、不定期で配信しています。
 - ・ 法学部の詳細情報に関しては、HP も併せてご覧ください。
法学部 HP <http://www.okayama-u.ac.jp/user/law/index.html>
 - ・ 本メルマガには返信なさないようにお願いします。
 - ・ 本メルマガの登録・解除は、以下の URL にてお願いします。
<http://www.okayama-u.ac.jp/user/law/local/mail/index.html>
 - ・ ご意見・ご感想は、法学部 情報委員会 joho-mailmaga@law.okayama-u.ac.jp まで。